

第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画の成果・効果事例

人材養成機能を重視した基盤的施設の整備

～学術情報基盤の強化による教育研究活動の活性化（群馬大学）～



情報化などに対応するスペースが不足

- 老朽化も進み、安全な環境の確保が困難
- 課題探求型学習等を支援するスペースが不足
- 情報化への対応など図書館機能が不足

課題の解決

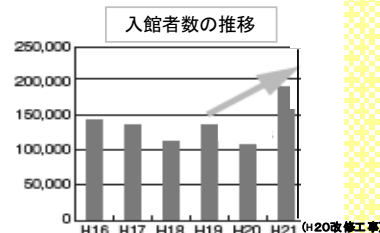


パソコンを設置したラーニングルーム



コミュニケーションスペースを充実

- グループ学習室等を整備したことにより、課題探求型学習等を支援
- グループ学習室を設置したことにより、少人数のディスカッションが可能になり、学習効果が向上
- ラーニングルームの設置により、情報環境が充実し学習効率が向上



卓越した研究拠点の整備

～世界をリードする放射線医学分野の研究拠点の形成（広島大学）～



狭く機能性の低い実験室

- 電気設備の容量不足により、機器の増設に対応できず、新たな研究の展開が困難
- スペースの配置が高度化する研究内容に対応できず、機能的・効率的な研究環境の確保が困難

課題の解決

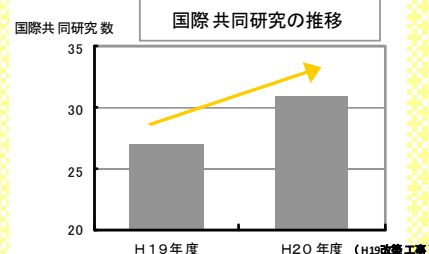


快適で機能的な実験室ゾーン



世界水準の放射線医学研究の拠点

- 外国の研究機関との共同研究が増加し、国際的な研究拠点として世界をリード
- 放射線影響・医学分野における全国の大学共同利用・共同研究拠点として認定され、国内における共同研究も活性化



大学附属病院の整備

～病棟の高度化・快適性向上による高度先進医療の推進（岡山大学）～



狭く老朽化した6人床の病室

- 老朽化による施設機能低下により高度先進医療を提供するための環境が不十分
- 病室の居住環境の悪化や個室や食堂等の不足により、患者サービスの質が低下

課題の解決



快適な療養環境の個室病室



高度先進医療を支える環境

- ICU（集中治療室）等の高度な先進医療を提供する環境の整備やヘリポートの整備により、地域の中核的医療機関としての機能を強化
- 個室病室を増やすなど快適な療養環境を確保

